

鳳山見水

第25号

くぼさんじすい

発行人

秋田県立本荘高等学校東京同窓会長
保科 勇記夫

題字 後藤竹清

現在の本荘高校

秋田県立本荘高等学校 校長 高橋 司



本荘高校東京同窓会会員の皆様には平素より本校教育活動に対して多大なる御理解と御協力に感謝申し上げます。私は今年度4月より赴任しました。本荘高校東京同窓会報第25号の発行に際し、現在の本荘高校の近況をお知らせいたします。

4月8日の入学式により、215名が本校の生徒として加わり、生徒数は全日制課程589名、定時制課程25名です。全日制課程は1学年6クラスであり、2年生から文系、理系に分かれます。4月行事の国歌練習では圧倒的迫力で校歌や応援歌を歌えるように体育館で大きな声を出して練習し、部活動紹介では

上級生が工夫を凝らし説明しました。本校では15の運動部に331名、10の文化部に170名が所属していて、日々文武両目指して頑張っています。5月2日の大運動会の縦割り競技では、学年を超えて円陣を組み、心を一つにして勝利を目指す姿にスタンドの観客席から大きな拍手が湧き上がりました。6月21日からの玲瓏祭では、テーマ『瓏星(ステラ)』の輝け、未来の道標』のもと、生徒一人ひとりが個性を輝かせ、来場された方に特別な思い出となるように企画したイベントに全力を尽くしました。

部活動においては、各部とも日頃の練習の成果を活かし、東北大大会、全国大会出場を果たすべく各種全県大会に全力で臨みました。その結果、端艇部、柔道部、放送部、硬式テニスが全国大会に出場します。また、端

艇部の小松煌さんはU19ナショナルチーム選考レース女子シングルスカルで優勝し、8月6日からリトアニアで行われる世界選手権大会に出場します。

勉学においては、昨年度の卒業生197名の内87名が国公立大学合格、私立大学には73名が進学しています。生徒の進路目標実現に向けて、職業研究、進路別課題研究などキャリア教育を実践しています。

定時制課程では、卒業後の進学、就職先で円滑に活動できるようにワーシャルスキル、コミュニケーション能力の育成を目指したプログラムを実施しています。また、働学一体の精神のもと、生徒はアルバイト等に就事し、社会とつながりながら多くのことを学んでいます。

生徒は学校の教育活動の中で仲間とともに玲瓏同気(切磋琢磨)しながら学力の向上と未来を切り開く人間力を高めています。これからの本校の教育活動に対する御支援をお願いいたします。

本荘高校の部活動

同窓会事務局担当

小澤 寿美人(85期)

今年度、同窓会の事務局を担当している小澤です。よろしくお願いたします。

令和7年度の部活動の状況についてお知らせします。

最初に、端艇部の小松煌さん(3年)が3月に行われた第36回全国高校選抜ローイング大会の女子シングルスカルで優勝しました。また、U19ナショナルチーム選考レース女子シングルスカルで優勝し、8月の世界選手権アジアジュニア選手権に出場が決定し、練習に取り組んでおります。

バスケットボール部・バレーボール部も昨年度よりも多くの部員が入部し、上位大会を目指して練習に励んでおります。硬式野球・軟式野球ともに7月に県大会を控え、全国大会出場を目指して練習に取り組んでおります。

文化部では、放送部が全国大会の出場を決めており、吹奏楽部は7月のコンクールに向けて熱の入った練習を行っています。秋田を離れて生活している同窓生の皆様に少しでも喜んでもらえるように、活動させていきたいと考えておりますので、今後とも協力よろしくお願いいたします。

【内容は6月30日現在】



端艇と柔道(母校提供)

新会長 挨拶

東京同窓会会長 保科 勇記夫 (73期)



昨年の総会で佐藤源一前会長が退任され顧問になられ、私が新会長に就任しました。73期の保科勇記夫でございます。

私は25年前に当時の事務局長でした打矢さんに誘われ、この会に参加する事になりました。それ以降ずっと、事務局の補佐として、皆様の名簿管理をしながら、総会案内状や封筒の印刷、総会の名札作成などをやって参りました。私は新橋で《簗(たかむら)》という「飲んで・食べて・歌えるお店」を40年やっており、役員会は当店で15時頃から始め、終了後には一杯飲みながらの楽しい懇親会をして団結力を高めております。

新事務局長には77期の小杉利洋さんが就任しまして、新副会長には長年事務局長をやってこられました65期・湯田友夫さん、66期・松澤昭さん、69期・伊藤

典明さん、77期・梶原ひろみさん、83期・清水学さんにお願ひしました。どこでも高齢化が進み、若い人の参加者が少ないと言われていますが、当会では昨年から若い理事も増え、「何とか若い人も参加出来るよう頑張ります」と張り切っております。そして、総会に向けて以前のように実行委員会が復活しました。今年の担当期は卒業期の末尾が2と7の方々にお願ひしまして、67期・佐藤健策さんが実行委員長になり会議を重ねています。是非今年の総会に大勢の方がいらして下さいますようお願い致します。

また、皆様が3年間通学していた本荘高校がある旧本荘市(現由利本荘市)は、海・山・川がある風光明媚なところで、たくさんの特産品があります。実は私、今年由利本荘市ふるさと会の会長になりました。由利本荘市役所から、東京での物販や移住支援など、大勢の方に連絡して欲しいと案内がきます。皆様にもお知らせさせて頂きま

と会のホームページ(HP)を見て頂けたら嬉しいのです。にかほ市ふるさと会も昨年HPを立ち上げました。それ以外の方はご自身の出身地のHPを是非ご覧下さい。市役所も頑張っているのだなと感じて頂けると思ひます。首都圏から母校、ふるさとを応援して参りましょう。

最後になりますが、伝統ある本荘高校東京同窓会に恥じないよう、役員一同頑張つて参りますので、先輩、後輩の皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

会長選任の様子



事務局長に就任して

東京同窓会事務局長 小杉利洋 (77期)



東京同窓会会員のみなさま、こんにちは。昨年10月から事務局長に就任いたしました77期・小杉利洋です。

同じく昨年の9月に、40数年勤務した会社を一旦定年退職し、そのまま再雇用でお世話になっております。

現場の一線を退き、時間の余裕が出てきそうなので引き受けさせていただきましたが、思ったよりもやることが多いです。ただ、長年当職にありました湯田さんにご指導をいただきましたが、少しずつ身に着いてきました。

東京同窓会に参加させていただいてから10年以上経ちます。途中にコロナのため数年のプランクがありました。役員会はいつも活発な意見が交わされて、その場では若造の私は何とかつ

いていこうと必死です。そんな私の意見を聞いていただける先輩みなさまに感謝です。昨年の会長改選でも、私が保科さんを推薦し満場一致で承認いただきました。私の事務局長はそのおかげです。東京同窓会の新たな船出となりました。

ところで、事務局長に就任して驚いたのが、秋田県に関わるイベントが大変多く開催されていることです。市町村のふるさと会、母校の同窓会など、毎月なんらかのイベントが複数開催されているのでは、と思うほどです。それだけ、ふるさと「秋田」を思う人が多いな、と感じます。みなさんの思いはどうですか。

みなさんが「秋田」に触れたい時に、東京同窓会をご活用ください。何も堅苦しいことはありません。年齢差を気にすることもありません。秋田なまり

を聞きたい、昔話で盛り上がりた、思いがけない人との再会があるかもしれません。一度、親睦会や総会に顔を出してみませんか。いつでも来てくれます。まずは任期の2年間、保科会長をサポートしながら、東京同窓会を盛り上げていき、それが少しでも母校への恩返しになればと思つて活動を続けていきます。

みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



新役員による三本締め

志木に住んで

鈴木民雄 (67期)



この度理事に就任することになりました67期鈴木民雄です。地元志木のことを少し述べてみたいと思います。

志木市に住んで30年ほど。面積は10㎢に満たず、埼玉県内では蕨市に次いで狭い市域です(全国でも何番目かは?)。市役所から市内どこでも20分(15分?)以内、コンパクトシティを地で行っております。東武東上線と東京メトロ有楽町線・副都心線直通に加え、東急線・相鉄線、西武線とも相互乗り入れにより、ますます交通至便になっています。

さて、市内には国の重要有形民俗文化財に指定された「田子山富士塚」があります。富士塚とは、富士山を模した人造の築山で、埼玉、東京、神奈川などにたくさんありますが、国の指定を受けた富士塚は5つしかない

く、貴重なものとなっています。築造は明治5年、よく当時の姿をとどめ、地域の人に愛されて街のシンボリック的存在となっているとして平成32年2月に指定されました。高さは9mほど、空

山開き山仕舞いとも本物の富士山に倣って行うものですが、富士塚の登山は年中。神様(浅間さま)のごこと大安と友引の日に登山できることとしており、この当番も保存会員の活動の一つです。この他年3回、地域の方と一緒に草刈りなども行っています。志木を訪れることがありますしたら、是非立ち寄ってみてください。



田子山富士塚

本荘高校という縁の糸

竹内茂夫 (79期)



2年の夏、鹿児島インターハイの舞台となった鹿屋のダム湖コースレコードを叩き出すも惜敗した悔しさは、今でも心の奥で静かに燃えています。

あの時同じレースの某高校のクルーの一人と、社会人になって再会。親会社の系列子会社の社長となっていた彼とは、新卒

の思い出横丁で再び語り合いました。本荘高校メンバーは、レース場と宿の往復、対して某高校は鹿屋の街スナックに繰り出し通報されそうになったという話を聞き、田舎の高校生と都会の高校生の違いに驚いたものです。その焼き鳥屋では、本荘高校野球部の甲子園出場記念ボールが棚に飾られていて、店主が誇らしげに話すなか、私が「ポート部です」と答えると、即座に店主が「失礼いたしました」と返答、店中が不思議そうにしてい

ると、店主が「これが本荘高校の部活ヒエラルキー」と冗談を飛ばすと、客も巻き込んで大盛り上がり。あたたかく、ユーモアに満ちた瞬間でした。

そして、有楽町の『まつ惣』

にふらりと入った際、「なんだポート部、また来てくれたのか」と迎えてくれた店主。頼んでいないのに塩盛りや天寿、由利正をさりげなく出してくれる心遣いには、言葉以上のぬくもりを感じました。その店主の親父も本荘高校OBです。



銀座の『なまはげ』は、ポート部OBが『お台場レガッタ』に出場した帰り道に寄る居酒屋です。プライベートで寄っても由利本荘出身の赤なまはげさんは、いつも席に寄っていただき、盃を交わしていただいております。ちなみに今年は、『2020年TOKYOオリンピック開催記念レガッタ2025年』に出場予定、また夜の街に本荘高校OBの本荘弁が響き渡ることでしょう。

市役所が主催した千葉・柏や田園調布のスーパーでの本荘物

産展では、社内メールで「寄つてみて」と投稿すると、同僚たちが由利フリンをお土産に買ってくれたり、由利牛を買って自宅で調理、すき焼きやステーキが美味しかったと報告してくれたり。それがきっかけで由利本荘市を調べる人まで現れ、小さな発信が大きな興味を生んだことがうれしく感じられました。時が流れても、本荘高校を中心とした縁は、今も私の暮らしを彩っています。

仕事と趣味の毎日

大澤 泉 (69期)



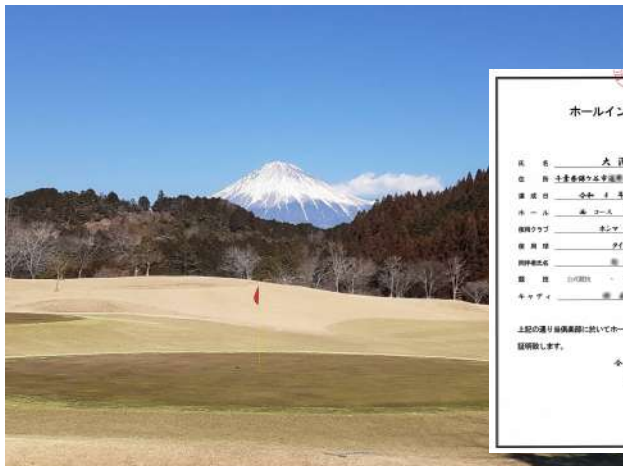
美濃・金山城で

新理事に就任しました第69期の大澤泉と申します。高校を卒業して早51年、古希の年となりました。

現在、板橋区にある城北学園(中高男子校)の常任理事と新宿区・神楽坂の(株)尾澤薬舗(不動産仲介業)の代表取締役をやっております。サラリーマン生活も47年目ですが、仕事はまだ暫く頑張つて続けるつもりです。

ずっと趣味としてやっていることが主に3つあります。日本100名城・続日本100名城巡りとゴルフとマジックです。

(財)日本城郭協会が選定した100名城・続100名城巡りは、2013年1月13日からスタートしました。各城にはスタンプ設置所があり、持参したスタンプ帳に押印します。現在、



ホールインワン証明書と富士見ヶ丘カントリー倶楽部



サントリーホールでマジックを

で達成できています。

ゴルフは、鎌ヶ谷カントリークラブ(千葉県)・富士見ヶ丘カントリー倶楽部(静岡県)のメンバーで、3年前66歳の時に995ラウンド目で初のホールインワンを達成しました。健康の為、体の動く限り、ゴルフは続けていきたいです。

マジックは、現在、東京アマチュアマジシャンズクラブ(TAMC)に在籍しています。このクラブは、現存する日本最古

のマジッククラブです。会員数は70名程で、副幹事長兼総務委員長を仰せつかっています。大学時代にマジックサークルに所属していたこともあり、2018年6月に入会しました。指先を動かす事は、ぼけ防止にもなるそうなので、マジックもできるだけ継続したいと思っています。

これからも健康第一で、仕事に趣味に頑張つていきます。

部活ダイジェスト①

硬式野球部

第107回全国高校野球選手権秋田大会

(7月11日 こまつスタジアム)
第2日 本荘3-8鹿角

硬式テニス

令和七年度全国高校総体テニス

第115回全国高校テニス選手権大会
(7月29日、広島県福山市・竹ヶ端運動公園庭球場)

男子シングルス

1回戦 須藤泰多0-6和田陽向
(兵庫・相学院)

1回戦 大泉恒1-6水谷大軌
(埼玉・浦和学院)

卓球部

第71回秋田県高校総体卓球

(5月31日、大館市・グリアス田代)

男子団体

1回戦 本荘3-1湯沢

2回戦 本荘3-1大曲工業

準々決勝 本荘0-3令和

女子団体

2回戦 本荘3-0平成

準々決勝 本荘1-3聖霊学院

男子ダブルス

準々決勝 大友・田澤1-3齊藤・三上
(秋田)

女子シングルス

準々決勝 小川0-3植田秋田

柔道部

令和七年度東北高校選手権柔道

(6月21日、青森市・伊藤鉾)

業アリナツがる

男子個人60kg級

1回戦 石垣健心0-板垣宙伸

2回戦 石垣健心0-小竹祥太
(山形・米沢興譲館)

男子個人66kg級

1回戦 佐々木結叶0-鈴木陸斗
(宮城・多賀城)

2回戦 佐々木結叶0-豊嶋大翔
(青森・木造)

男子個人81kg級

準々決勝 小松脩0-志賀琥士郎
(宮城・東北)

準決勝 小松脩0-佐藤優太

決勝 小松脩0-柴田隆成
(岩手・盛岡大附)

合わせ技 (青森・青森北)

男子個人100kg超級

1回戦 五十嵐慧0-松下宗稔
(山形・山形工業)

令和七年度全国高校総体柔道

第74回全国高校柔道大会

(8月15日、岡山市・ジッパアリーナ岡山)

男子個人81kg級

1回戦 小松脩0-松原雄静
(香川・高松商業)

優勝



由利学生東京寮の思い出

小松 雅人 (88期)



この度は寄稿の機会をいただきありがとうございます。私は1993年から1997年までの大学時代4年間を中野区白鷺の由利学生東京寮(以下「由利寮」)で過ごしました。親元を離れ、初めての東京生活を無事に過ごすことができたのは由利寮の存在なしには考えられません。

当時の由利寮は建替前の古い建物で、定員30名(15部屋)のところに20数名が入寮しており、私は本荘高校の同じクラスの友人と同部屋になりました。個性豊かな多くの友人や先輩に囲まれ、秋田弁が飛び交う環境は非常に安心感がありました。

朝食・夕食付(確か250円と400円)、そして何と云っても相部屋だと年間8万5千円という格安の寮費は、日本育英会(当時)の奨学金を借りて大

学に通う自分にとって大変ありがたいものでした。地元の皆様やTDKのご支援に深く感謝申し上げます。TDK元社長の山崎貞一さんは毎年の寮寮にお越しいただき、一緒にお酒を飲んでお話を聞かせていただきました。住み込みで働いておられた管理人の村上御夫妻(そして愛猫のチャッピー)には何から何まで本当にお世話になりました。

由利寮の学生はみんなお金がありませんでしたが、ときどき安い酒を飲んで語り合い、麻雀やゲームに興じ、大学の試験や就職に向けた勉強などもしていました。社会生活の基礎を学ぶ場としても寮生活は貴重な機会でした。

自分は国家公務員として内閣府に勤務しています(国交省からの出向)。
また、にかほ市ふるさと宣伝大使を務めており、首都圏の「にかほ市ふるさと会」のホームページ管理なども担当しています。毎年総会・懇親会(今年は11月2日予定)を開催しておりますのでぜひご参加ください(「にかほ市ふるさと会」で検索してください)。
内閣府参事官(経済社会システム・社会基盤担当)。仁賀保・院内出身



入寮時に母(とし子・62期)と



相部屋の斎藤努さんと

部活ダイジェスト②

端 艇 部

第36回全国高校選抜ロイヤル大会

(3月23日 静岡県浜松市・天竜ボート場)

女子シングルスカル 優勝

小松 煌

令和7年度全国高校総体ロイヤル

(8月2日 広島県福山市・芦田川漕艇場)

女子シングルスカル 準々決勝6位

佐藤英莉

男子シングルスカル 準々決勝6位

佐藤涼晴

女子舵手つきクオドルプル 準々決勝6位

松井・猪股・佐々木・堀

三浦・庄司 準々決勝3位

男子舵手つきクオドルプル 準々決勝3位

小松・今野・佐々木・梶原・猪股

陸上競技部

陸上競技部

第80回東北高校陸上競技大会

(6月13日 青森市・カクヒログループアスレチックスタジアム)

男子1500m 予選敗退

木島大介

男子3000m 決勝8位

木島大介

男子円盤投 決勝12位

小林 傑

男子ハンマー投 決勝14位

小林 傑

女子ハンマー投 決勝14位

安藤 純唯佳

弓 道 部

令和7年度秋田県高校総体弓道

(6月1日 秋田県立武道館)

団体競技 男子の部 2位

団体競技 女子の部 4位

放 送 部

第66回秋田県放送コンテスト

兼第72回 NKK杯全国高校放送コンテスト秋田県大会

(6月4日 大仙市・大曲市民会館ほか)

アナウンス部門 伊藤 颯太 佐々木七笑 各入選

朗読部門 渡辺 笑佳 入選

ラジオドキュメント部門 『守る、つなぐ、そして未来へ』 優秀賞

総合 銅賞

吹 奏 楽 部

第67回 秋田県吹奏楽コンクール

中央地区大会 (7月4日 秋田市・あきた芸術劇場ミルハス) 金賞(代表)

秋田県大会 (8月2日 秋田市・あきた芸術劇場ミルハス) 金賞

課題曲Ⅲ マーチ『メモリーズ・リフレイン』(伊藤士恵)

自由曲 『秘儀Ⅶ(不死鳥)』(西村朗)

野球観戦記

巨人―広島

井岡隆雄(66期)



した。近年では過去にも稀な二刀流を標榜し大活躍する大谷選手が、世界の野球選手を集めるMLBの中で実力、人気ともNo1選手になっている。

本荘高校同窓生20人と7月4日(金)東京ドームで、巨人vs広島12回戦を観戦した。終始両チームの貧打線(投手戦でもあった)で、ホームランによる1点を巨人が守り勝った試合だった。秋田に住んでいた時は当然のように巨人ファンであったが、この頃は大リーグのドジャーズファンになっていた。1年に1回程度ドーム球場に足を運んでプロ野球を生で観戦するが、御多分に漏れず野球は大リーグをテレビで見ることが多く、巨人戦でさえ放映されない試合もある。その衰退原因は間違いなく選手のNPBからMLBへのトレード、実力選手のスカウトの結果と思われる。MLB初の日本人出身者は1964年の村上投手で、その後は野茂投手やイチロー外野手のようにNPBで活躍し、渡米後も大活躍した選手が続出

は1階40段目の一塁側(巨人側)後方で比較的全体がよく見える5800円/人の席であった。試合開始前にそれぞれがビールなどの飲食物を買い、18時の試合開始を待った。試合時間は約3時間であったが、その感想として。

1 たぶん歩合制と思うが、若い女性の売り子が急勾配の通路を終始忙しく動き回っていた。このシステムは他のスポーツ観戦では見受けられなく、観客にはその都度席を離れる必要はなく便利なサービスである。

2 テレビでは味わえない立体感とスピード感がある。ホームランの二次放物線や打球と送球のボールの速さである。高校3年生の時に、ドラフト2位指名(全体で13番目)の同期生が投げるボールを、打席の隅つこで恐々として見送った事は今でも

強烈に印象に残っている。ボールがホップし、唸りを上げて打席に向かってくる。これぞプロのボールと感じた。

3 ドーム球場のためドーム全体が温度調整され、世の中が猛暑でも程よい気分で観戦できる。サッカーやラグビー観戦ではあり得ない。

4 野球の守備は9人で行うが、一つの打球に9人全員が決められたように一斉に動く。バックアップする者、中継する者などがおり、誰一人サボっている傍観者がいない。テレビでは投手と打者が主役であるが、野手全員が見られ、その俊敏な動きを見るだけでもプロを感じる。

5 一人当たりの座席が狭い。お金に余裕があればゆったりした席で観戦できるが、手荷物の置場や席の出入りにその列全員が立たないと入りできない。体格の大きな外国人などはまず無理だと思う。そもそもそのような観客は想定してないだろうけど。

6 外野席に陣取っている応援団が両翼とも煩い。サッカーの試合ほどではないが、ただ野球を楽しむに來た一般の観客者にとって、もう少し静かな応援ができないものかと思う。

その他いろんな事を感じたが、一番残念に思ったのはスター選手が日本球界に不在、育つてない事である。野球に再度人氣が出て、子供達が気軽に遊び、大リーグへの移籍にある程度の制限ができれば、昔のような大スターが出るかもしれない。今は真夏、母校の甲子園への出場は今年も叶わなかったし、甲子園での初勝利はいつの日か、故郷にスーパースターが現れるのを強く期待する。

第59回 本荘高校東京同窓会
総会・懇親会

日時 令和7年10月18日(土)12時~15時

会場 アルカディア市ヶ谷

懇親会費 10,000円

連絡先 本荘高校東京同窓会
事務局長 小杉利洋(77期)

諸物価高騰のおりではありますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

QRコードでホームページが見られます。
(会報も カラー版 で掲載)



昨年の懇親会の模様



編集後記

最寄りの駅の階段下で、市議会議員が活動報告のリーフレットを配りながら演説していました。締めくくりに「暑い日です。この報告書も厚いので、うちの代わりになります」。なるほど、「暑い」と「厚い」を掛け、市政への(熱い)思いを語っていたのですね。小生、駄洒落や言葉遊びをおもしろがる性癖があるようです。落語が好きなのと関連しているかもしれません。それはさておき、会報に記事や写真をお寄せくださった皆さま、どうもありがとうございます。この紙面を借りて(篤い)感謝の気持ちをお伝えいたします。(伊藤典明・69期)



東京ドームの観覧席で